



令和 7年 9月10日
中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所
大 林・大 本・市 川 JV【(株)大林組】

未来へ向けた建設機械の自動・自律化 ～新丸山ダム本体建設工事 建設 DX 実証実験～

新丸山ダム本体建設工事では、施工計画から品質管理まで一貫した自律型コンクリート打設システムの実現に挑戦しています。令和5年2月以降、3回の実証実験を重ねてきました。今回第4回目の実証実験では、コンクリート締固めに用いるバイバック※の自律運転に向けた検証を行います。

※バイバックと呼ばれるバックホウに4台の棒状の振動機（バイブレータ）を取り付けた機械で、コンクリートを短時間で締め固めることができます。

1. 実証実験

日 時：令和7年10月 1日（水） 10:00～12:00 小雨決行

予備日：令和7年10月16日（木） 10:00～12:00 小雨決行

1) 概要説明：

今回の実証実験概要を説明するとともに、自律型コンクリート打設システムの計画や、映像も交えながら現在取り組んでいる建設DXについて紹介します。

2) 実証実験内容：

ダム本体工事現場において、バイバックの自律運転に向けた第1段階として、遠隔操縦及び自動締固めの実証実験を行います。（別紙－1）

2. 集合場所、集合時間

新丸山ダム JV 工事事務所：岐阜県加茂郡八百津町3340－1（別紙－2）

集合後はマイクロバスでの移動となります。

当日は開始5分前までにお越しください。

3. 取材申し込み

取材等を希望される記者の方は、別紙－3に必要事項をご記入いただき、下記メールアドレスまたはFAXにてお申し込みをお願いいたします。

【連絡先】 E-mail: cbr-shinmaru@mlit.go.jp

FAX: 0574-43-3921

【申し込み期限】 9月19日（金） 16:00

なお、実証実験中止・延期の際は申し込みされた方へ前日15時までにメールにてご連絡いたします。

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、美濃加茂市政記者クラブ、可児記者クラブ

【問い合わせ先】

新丸山ダム建設事業、建設DX、全般に関するお問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

副所長 蔭山 敦士 工務第一課長 芝 昌一

電話: 0574-43-2780(代表)

実証実験、自動自律化技術、統合管理システムに関するお問い合わせ

(株)大林組 本社 コーポレート・コミュニケーション室

広報課長 筒井 庸介、広報課主任 坂西 峰央

電話: 03-5769-1014 E-mail: press@ml.obayashi.co.jp

実証実験の概要

別紙ー1

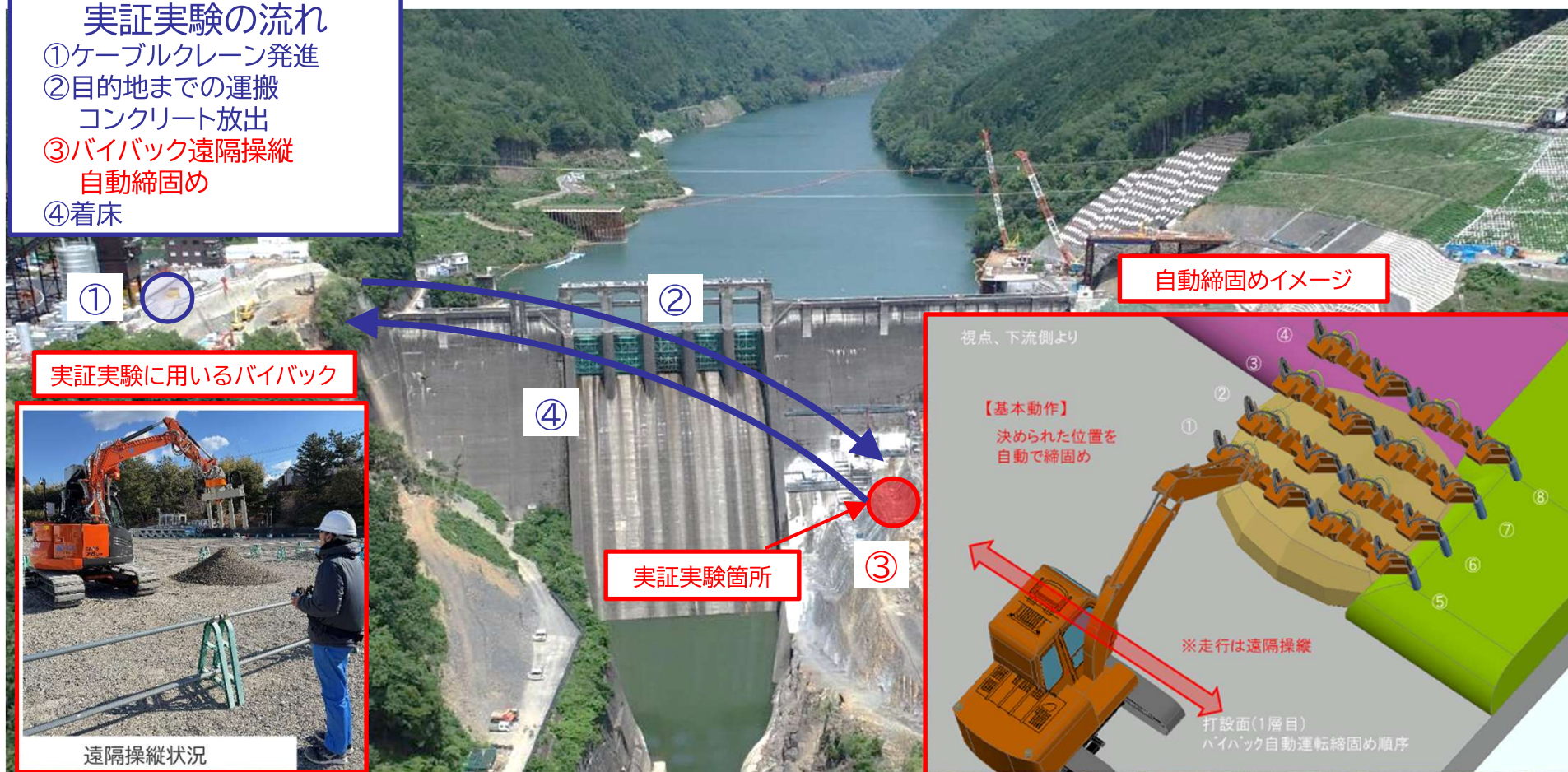
- ・バイバックの遠隔操縦・自動で締固め
- ・コンクリートはケーブルクレーンの自律運転により運搬、放出
(第3回 実証実験(令和7年2月)内容)

過去実証実験は
こちら↓



実証実験の流れ

- ①ケーブルクレーン発進
- ②目的地までの運搬
コンクリート放出
- ③バイバック遠隔操縦
自動締固め
- ④着床



自動締固めイメージ

実証実験に用いるバイバック



遠隔操縦状況

実証実験箇所

視点、下流側より

【基本動作】
決められた位置を
自動で締固め

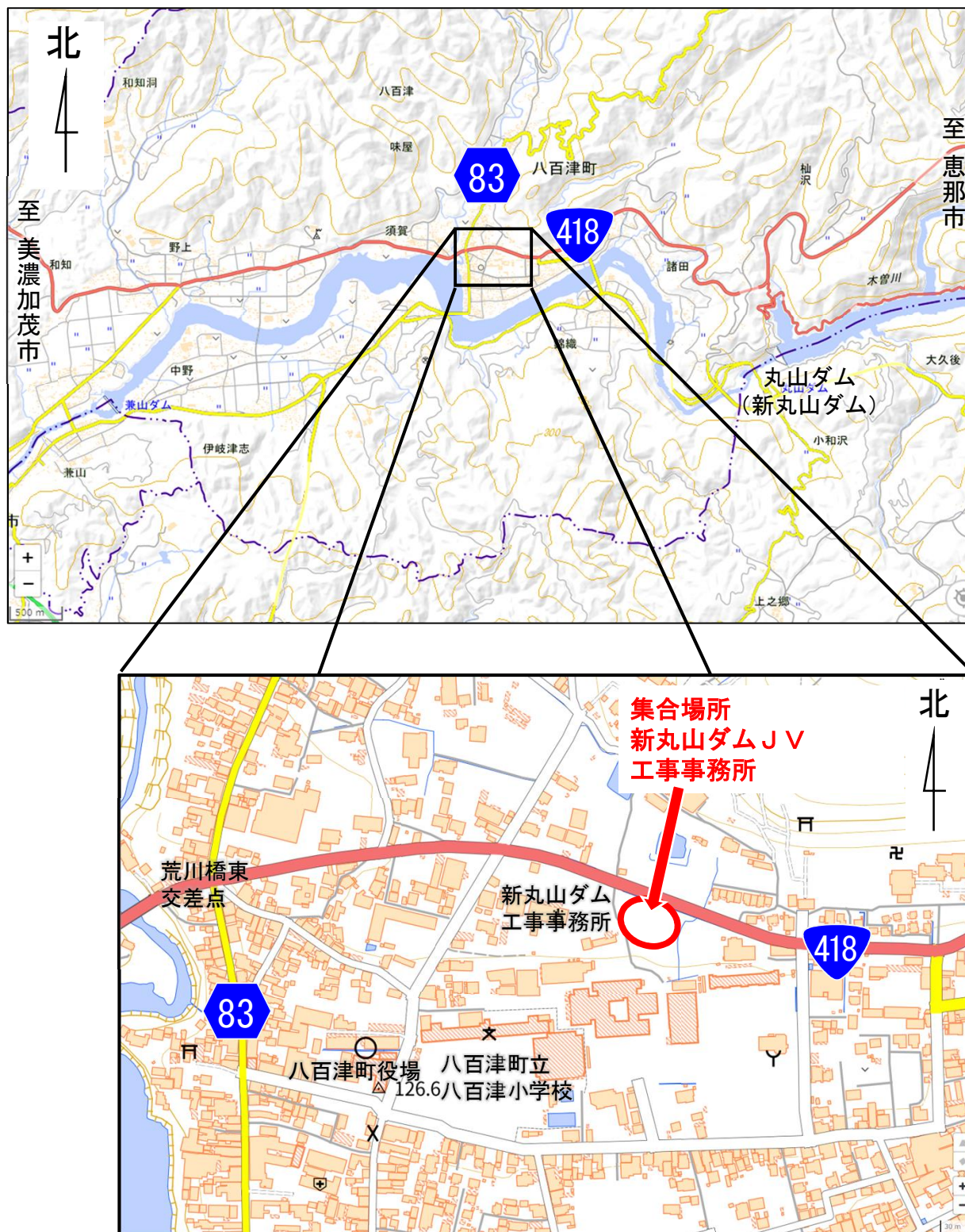
※走行は遠隔操縦

打設面(1層目)
バイバック自動運転締固め順序

集合場所

新丸山ダム J V 工事事務所

(岐阜県加茂郡八百津町八百津 3 3 4 0－1)



取材申込書

新丸山ダム工事事務所 宛

E-mail:cbr-shinmaru@mlit.go.jp

FAX 番号:0574-43-3921

	新丸山ダム本体建設工事 建設 DX 実証実験
報道機関名	
(ふりがな) ご担当者氏名	() 氏名 所属部署名等
ご連絡先	〒住所 電話番号 () FAX 番号 E-mail
(ふりがな) 同行者名	
その他 (ご要望等)	

※上記の記入欄は全てご記入下さい (必須)。

※会場の制約により同行者数は調整とさせていただきます場合がございます。